



### プロトコール

実際の胚移植は、施設ごとのプロトコールやノウハウに基づいて行うことが推奨されますが、下記に一般的な胚移植のプロトコールをご紹介します。

1. 本製品はご使用前に、37℃、5-6%CO<sub>2</sub> 下で少なくとも 2 時間の平衡化を行ってください。
2. 胚移植を行う 1 時間前からシリンジとカテーテルを保温しておきます。
3. 被移植者の身体が冷えないように注意します。そして、膣を清潔な状態にし、子宮口を暖かい生理的食塩水で洗浄します。
4. 試験用カテーテルを使用して、子宮頸管から子宮内への挿入が容易であるかを確認します。
5. 1mL の無菌シリンジを UTM™ もしくはメEDIUM で洗浄し、0.5mL をシリンジに吸引します。シリンジ内に気泡が無いことを確認した後、シリンジとカテーテルをしっかりと結合させます。
6. シリンジ中のメEDIUM を 50  $\mu$ L 残し、その他はカテーテルを通して排出します。
7. 最初に、カテーテルの中に約 10-15mm の空気を吸引し、その後、10-15mm のメEDIUM と一緒に胚を吸引します。
8. 最後に、約 10-15mm の空気を吸引し、カテーテルの先端へ 5mm のメEDIUM をゆっくりと吸引します。  
※粘液がカテーテル中に入ると胚移植が難しくなるので、カテーテルの先端にメEDIUM を吸引することにより粘液が混入してくるのを防ぎます。
9. カテーテルをゆっくりと挿入し、メEDIUM と一緒に胚を慎重に移植します。

